

令和6年度科学研究費助成事業「学術変革領域研究（A）」に係る中間評価結果

領域番号	21A403	領域略称名	統合生物圏科学
研究領域名	デジタルバイオスフェア：地球環境を守るための統合生物圏科学		
領域代表者名 (所属等)	伊藤 昭彦 (東京大学・大学院農学生命科学研究科 森林科学専攻・教授)		

(評価結果)

A (研究領域の設定目的に照らして、期待どおりの進展が認められる)

(評価結果の所見)

<p>本研究領域では、個々の計画班研究については優れた成果が上がっている。UAV-LiDARによる研究展開、メタゲノミクスによる微生物群集解析などにより、樹冠・土壌圏の情報の集積が進んだことは評価される。また、国際的な共同研究や、環境に関する枠組みに積極的に参加する中で、インパクトの高い成果を上げている点も評価できる。</p> <p>一方、地域・全球レベルのモデリングに各班の情報がどのように統合され、新しい理解に到達するのかについて、更なる理論化が必要である。また、観測キャンペーンなどをきっかけとして合同調査・設備の相互利用が図られているが、領域全体の目標に各班のベクトルが向いて、その完成が加速されるような組織運営が必要である。</p> <p>研究期間の後半では、解像度の高い統合的な解析を通じて、どのように学術が変革され、新規の見方がもたらされるかという点に留意しながら、個別の取り組みを越え、全体を俯瞰した目標を共有した分野間の統合を期待する。統合可能な部分と、連携に課題を持つ部分とを整理して、より戦略的に進めることや、全球モデルの構築に関する進捗が評価可能な形で報告されることも考慮され、地球環境分野において、世界をリードする学術分野の変革を期待する。</p>
--